

第89回 箱根駅伝

ご声援 ありがとうございます



総合10位 シード権獲得!
エースを軸にチームが結束!!

中央学院大学



中央学院大学
学 長
椎 名 市 郎

本学駅伝部は今年の箱根駅伝で見事にシード権を獲得してくれました。これはひとえに、物心両面からご支援をいただいている皆様のおかげと深く感謝をいたします。本学の選手諸君は、高校時代まで目立った実績のある選手は少ないですが、個性にあった丁寧な指導の下で、年を重ねるごとに力をつけて一流選手たちとも戦えるまでに成長してまいりました。その意味で箱根駅伝は“stand by you”(学生に寄り添い、向かい合い、そして支える大学)という本学の姿勢を具現化しているものといえます。箱根駅伝の襷には、若者のたくさんの汗と夢がこめられております。来年は12年連続・通算15回目の出場を果たすことになりますので、旧年にましてのご支援を切にお願い申し上げます。



中央学院大学
駅伝部
監 督
川 崎 勇 二

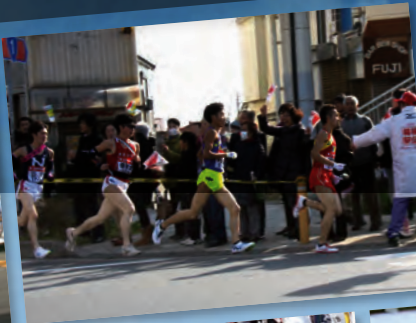
2日間どうもありがとうございました。今回の大会は、私なりの構想がありました。往路で上位につけ、復路で何とか辛抱してシード権内には必ず残るという戦略で臨みました。ここ数年のチームと比べても今年は非常にいい仕上がりをしていましたので、ある程度の手ごたえがありました。しかし、フタを開けてみれば往路13位という結果でした。本来ならばあきらめても仕方ない状況でしたが、復路の5人がコツコツと前を追って、何とかシード権内に順位を押し上げ、耐えてくれました。思い通りにはいかず、私の意図した展開ではありませんでしたが、これが箱根駅伝なのかなと思います。

今年のチームは、非常に「愛」のあるチームでした。とても明るく、情のあるチームでした。確かに藤井主将を中心にチームを作り上げましたが、他の4年生など周りうまくフォローしてくれました。目立つ選手ばかりでなく、そういった選手もいるからチームが成り立っています。

結果的にはシード権獲得という最低限の目標を果たし、来年に襷をつなぐことができました。多くの方々のご支援には大変感謝しております。どうか今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



第89回 箱根駅伝



粘りの走りでシード権獲得。

往路13位：5時間50分05秒
復路5位：5時間37分29秒

第89回東京箱根間往復大学駅伝競走は、2013年1月2日～3日、往路復路合わせて10区間217.9kmを舞台に20チームでレースが繰り広げられた。11年連続14回目の出場となる中央学院大学は、初日の往路は13位でフィニッシュし、次回大会への出場が保証される10位以内のシード権まで2分13秒差と苦戦を強いられたが、2日目の復路は各選手が好走し、総合10位でゴール。11位の山梨学院大学とは50秒差の接戦だった。往路は湘南の海沿いから箱根山中にかけ、選手にとっては向い風、しかも風速20m以上と台風並みの強風が吹き荒れ、5区山の上りでは中央大学と城西大学が途中棄権となるなど、波乱の大会となった。

往路

絶対的エース・藤井啓介を2区に置き、その前後を今季絶好調の1年生である潰滝大記、塩谷桂大で固め、1～3区までが10000m28分台という前半重視型のオーダーを組んだ。1区潰滝は前半から集団の前の方で積極的にレースを進め、トップと41秒差の区間8位で2区藤井につないだ。藤井は持ち前のガッツある走りで先頭を追い、一時は2位集団の先頭を引っ張るなど果敢にレースを展開し、各校のエース達を凌ぐ走りを見せた。3区塩谷は強風の影響もあり区間18位と沈んだが、4区沼田大貴が区間4位と好走し、3年連続5区山の上りとなる田中瑞穂にタスキをつないだ。しかし、田中も想定外の強風の中本来の力を発揮できず、順位を4つ下げ総合13位で往路をフィニッシュした。

復路

シード権のボーダーラインとなる10位まで2分13秒差という中で復路がスタート。昨年に引き続き6区を任された岡本雄大は、この区間の大学記録を43秒更新する速さで山を駆け下り、順位を2つ上げる好スタートを切った。7区木部誠人が箱根初出場ながら区間12位でつなぐと、8区及川佑太が1分23秒あった10位との差を逆転し、シード権内にチームを押し上げた。9区の室田祐司は4年生らしい安定した走りで復路のエース区間を区間6位でまとめ、10区アンカー山田侑紀につないだ。山田は後ろから追い上げる11位山梨学院大学に途中200m差まで詰められながらも、粘り強い走りで逃げ切り、復路5位、総合10位で大手町のゴールに駆け込み、4年ぶりのシード権を獲得した。

第89回大会 総合成績		
総合順位	大学名	総合記録
1位	日本体育大学	11時間 13分 26秒
2位	東洋大学	11時間 18分 20秒
3位	駒澤大学	11時間 19分 23秒
4位	帝京大学	11時間 21分 39秒
5位	早稲田大学	11時間 21分 39秒
6位	順天堂大学	11時間 24分 43秒
7位	明治大学	11時間 25分 14秒
8位	青山学院大学	11時間 25分 59秒
9位	法政大学	11時間 26分 40秒
10位	中央学院大学	11時間 27分 34秒
11位	山梨学院大学	11時間 28分 24秒
12位	大東文化大学	11時間 30分 46秒
13位	関東学連選抜	11時間 31分 50秒
14位	國學院大学	11時間 33分 28秒
15位	日本大学	11時間 35分 23秒
16位	神奈川大学	11時間 37分 36秒
17位	東京農業大学	11時間 39分 13秒
18位	上武大学	11時間 42分 44秒
-	城西大学	記録なし
-	中央大学	記録なし

中央学院大学 選手成績		
区 間	選 手 名	記録(区間順位)
1 区 (21.4 km)	潰滝 大記 法学部1年	1時間04分13秒 (8位)
2 区 (23.2 km)	藤井 啓介 法学部4年	1時間11分29秒 (9位)
3 区 (21.5 km)	塩谷 桂大 法学部1年	1時間08分41秒 (18位)
4 区 (18.5 km)	沼田 大貴 法学部3年	58分07秒 (4位)
5 区 (23.4 km)	田中 瑞穂 法学部3年	1時間27分35秒 (14位)
6 区 (20.8 km)	岡本 雄大 法学部3年	59分32秒 (6位)
7 区 (21.3 km)	木部 誠人 法学部2年	1時間06分26秒 (12位)
8 区 (21.5 km)	及川 佑太 法学部2年	1時間07分30秒 (8位)
9 区 (23.2 km)	室田 祐司 法学部4年	1時間11分44秒 (6位)
10区 (23.1 km)	山田 侑紀 法学部2年	1時間12分17秒 (6位)



潰滝 大記

(法学部1年・笠田)

初めての箱根駅伝で、緊張しましたが、2区に藤井さんが控えていたので楽しく走ることができました。タイムは気にせず、先頭との差を意識してレースを進めました。来季のチームは、速いだけでなく強いチームにしていきたいです。個人的には日本選手権で3000m障害優勝を目指します。

藤井 啓介

(法学部4年・兵庫工業)

総合6位を目標にしていたので、正直なところ悔しいですが、最低限の仕事はできたかなと思います。2区のレース的には追う展開になり、少しでも前でタスキを渡したかったので、前半から積極的に行きました。来年は今年以上に強いチームになって、少しでも上位に上がってほしいです。

塩谷 桂大

(法学部1年・那須拓陽)

悔しいです。今回の大会は自分が一番足を引っ張ってしまったと思っています。秋以降、調子が思うように上がり切りませんでした。来季は藤井さんや室田さんが抜けるので、今まで以上に一人ひとりが強くなる必要があると思います。そして、大きな舞台で結果を出せるようになりたいです。

沼田 大貴

(法学部3年・日立工業)

チーム目標の総合6位は達成できませんでした。箱根駅伝に出場でき、シード権も取ることができました。自分の持ち味である粘り強さを出したのが結果につながったと思います。来季は自分たちが中心となり、中央学院らしい粘り強い走りをモットーにやっていきたいです。

田中 瑞穂

(法学部3年・県立西宮)

僕はタスキをつないだだけという形になり、チームに全く貢献できませんでした。今回自分の走りが全くできず、不本意です。想定外の風が吹き、それに対応できませんでした。今年のチームはかなり明るく、来年はそれを継続し、あとは力強さ、タフさのあるチームにしたいと思います。

岡本 雄大

(法学部3年・岡山工業)

シード権を取れたことがうれしいです。自分のタイム的には58分台を狙っていましたが、最低限の走りはできました。任された区間はしっかり走ろうという思いでした。来季は自分たちの学年でチームを引っ張っていきたいと思います。往路の主要区間を走り、リーダーシップもとっていつもりです。

木部 誠人

(法学部2年・桂)

今回初めての出場で、楽しもうということを第一に走り出しました。前半はいい流れでしたが後半だいぶ失速してしまいました。6区の岡本さんがいい流れで持ってきたのに、自分の走りは不本意です。来年はさらに力をつけ、任された区間で結果を出せるよう努力していきます。

及川 佑太

(法学部2年・利府)

シード権は取れて良かったですが、個人的には良くなりませんでした。同じ8区で高校の同期が区間賞を取り、非常に悔しいです。来季は優勝した日体大のように、全員の力で上に行けるチームにしたいです。個人的には今回で自信はついたので、10000mで28分台を狙いたいと思います。

室田 祐司

(法学部4年・神港学園)

10区の山田にもっと貯金を作ってあげたかったのですが、正直悔しいです。タイムに関しても風があったとはいえ少しかかってしまいました。実業団ではマラソンで日の丸を目指します。来年は一人ひとりがレベルアップして、今大会以上の結果を出してほしいです。

山田 侑紀

(法学部2年・師磨工業)

最低限のシード権は取れたのでホッとしました。20キロ地点まで後ろのことは何も言われず、その後「20秒差まで詰まっているぞ」と監督から言われ、やばいと監督がいっつも通っていました。来季は、確実にやるチーム、どんな時でも走るチームにしていきたいと思っています。